

活動名		車いすスポーツ体験				
概要	○車いすおにごっこや車いすラグビーゲーム等を楽しみながら、誰もが安心・安全に楽しめるスポーツのよさを体感する。					
ねらい	○車いすスポーツ（障がい者スポーツ）について知る。 ○誰もが安心・安全に楽しめるスポーツのよさを体感する。					
関連教科等	体育・総合・道徳					
指導形態	③職員が指導を行う					
時期	通年	時間帯	いつでも	対象	中学年～	
場所	体育館	人数	～28人 (車いす14台)	所要時間	1.5～2時間	
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの		
	車いすバスケット用車いす14台、三角コーン、タイマー、電子ホイッスル、得点板、ピブス			動きやすい服装、体育館シューズ		
進め方・展開例						
内容			留意点			
活動前	○打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、班の数、活動の進め方			※雨天時プログラムのみは実施不可 ○車いす14台を交替で使うので、1班7人以下×2班以上が望ましい。(活動しやすいのは4～5人班)		
活動の説明	○「障がい」についてや、誰もが安心・安全に楽しむことについて考える。 ○安全のための決まりや、車いすの乗り方やベルトの装着等について説明する。			○はじめはルールを厳しくしすぎずに楽しむことを大切にするとよい。 ○待っている人が何をするかを決めておくとよい。 ○技術の習得状況や、ゲームの進行状況によって、ゲームの難易度を調整してもよい。		
展開	○職員からの説明を聞き、車いすに乗ってみる。(2人1組) ・前進、後進、ブレーキ、曲がる、回転の基本の操作の練習をする。 ・体育館を回りながら操作に慣れる。 ○おにごっこ ・小さな凹凸でも、車いすでは衝撃が大きく、障がいになることを体感する。 ○おにごっこ ・楽しみながら、基本の操作に慣れる。 ○ボール慣らし ・パス練習をする。 ・時間があればチームごとにパス練習をする。 ○車いすラグビー風ゲーム ・4～5人班同士で対戦する。					
まとめ	○活動中に感じたことや感想などを自由に話し合う。 ○「だれもが安心・安全に楽しむ」ことについて改めて考える。 ○みんなで車いすや道具の片付けや体育館の掃除をする。					
評価	○車いすスポーツ（障がい者スポーツ）について知ることができたか。 ○誰もが安心・安全に楽しめるスポーツのよさを感じることができたか。					
発展	○よりよい学びにつながるよう「だれもが安心・安全に楽しむ」ためのルールや活動内容について考えたり、臨機応変に変更したりする。 ○車いすポートボール、車いすバスケット、その他の障がい者スポーツ（ボッチャ、ゴールボール、ブラインドテーブルテニス等）にも挑戦するとよい。 ○実際に普段から障がい者スポーツをされている方と交流する。					